

# 平成29年度 事業報告書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

## 1. 事業の概況

### (1) 活動及び運営の概況

平成29年度は、熊本地震の落ち着いた状況の中、またしても7月に九州北部豪雨が発生し福岡県に多大な被害をもたらしました。地元でもあり、北九州の会員と共にお見舞いボランティアとして駆けつけ、心のケアを行いました。これからも被災者に寄り添い、継続して支援をしていきたいと思っています。

また、平成30年度は支部の活性化及び協会の事業目的の推進を図り、また、会員の皆様とのコミュニケーションを円滑にするため、組織を見直しブロック制を導入いたします。

平成29年度は、当期計上増額（利益）が、事業収益（収入）前年比6%増加、経常費用（経費）前年比7%削減と、これまでの課題であった低収益体質の改善を図ることができました。

### ■平成29年度事業部の主な活動

#### 1. 施術活動事業部

◎緩和ケア病棟、福祉施設等を定期的に訪問

2,470人のスタッフが12,035人に施術をした。理事長も現状把握のため施設を訪問した。

◎被災者支援

熊本1回、九州北部豪雨災害者支援2回訪問。

#### 2. 人材育成事業部

◎講師の養成

「講師認定講座」を実施し、13名の新講師が誕生した。

◎施設セラピストの養成

住友林業グループの(株)フィルケアの介護付有料老人ホームが施設セラピストを導入。地域及び施設利用者の方とのふれあいにセラピューティック・ケアを活用し好評を得ている。加えて職員・スタッフの癒しにも役立っている。

◎大学・短大授業

大学・短大履修用として新たに「介護セラピスト」用のテキストを作成した。

◎子育て支援

福岡県社会福祉協議会助成金で子育てイベント「ふくおか”きずな”フェスティバル」に参加した。

3. 普及啓発事業部

◎カルチャー

5ヶ所で実施、出席受講者数765人は過去最高であった。（昨年：425人）

◎学校(特別授業)

小中高校12校のほかに児童自立支援施設・私立高等専修学校・特別支援学校（教師）・ふれあいスクールから依頼があり、活動の幅が広がった。16校訪問、68名のスタッフが890名に授業を行った。

◎イベント

40の参加イベントの他に協会主催イベント3（パネル展2、阿蘇復興支援音楽と癒しのつどい）を企画、実行。378人のスタッフが2,150人に施術をした。

4. 渉外事業部

◎補完心身医療療法士/CT

昨年より始めた資格取得講座Complementary Therapist（補完心身医療療法士/CT）に今年も23名が受講、CT資格保有者が34名になった。

◎広告（ご協賛）

阪急交通社に支援依頼、第12回通常総会議案書の裏表紙に広告を掲載することで3万円を協賛頂き議案書の印刷代に充当した。

◎資金調達（ファンドレイジング）

（内訳）

① 寄付金 104件（個人99名 / 法人5社）	410,579円
② Gooddoワンクリック寄付金（全国の多くの皆様より）	54,801円
合計	465,380円

皆さまからご支援いただきました寄付金は、ひとりでも多くの方にセラピューティック・ケアをお届けする為に「施術活動事業」「人材育成事業」「普及・啓発事業」「その他の事業」の活動の為に有効適切に使わせていただきます。

(2) 事業実施内容

- ① 病院、ホスピス、福祉施設等へ訪問し、施術活動を行う
- ② 災害復興支援ボランティアとして活動する
- ③ 地域に密着した活動の為に各種講習会の開催及び介護支援ボランティアを養成する
- ④ 子育て支援として、特にママに視点を当てたインファントセラピストの養成、イクメン講座の開催、各種イベントにも積極的に取り組む
- ⑤ 小・中・高校の特別授業で親子、友人達等との心の交流によるコミュニケーション法を指導し、ボランティア活動に関心をもつ次世代を育てる
- ⑥ 施設セラピストの養成事業所を増やし、専門職のキャリアアップに努める
- ⑦ Complementary Therapist（補完心身医療療法士）の養成、活動支援および普及に努める